



【Pembro+SOX+HER療法について】

(キイトルーダ+エスワン+エルブラット+ハーセプチン)



様

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
薬の名前	作用	めやすの時間																							
パロノセトロン注	吐き気止めです	15分																							
デキサート注																									
キイトルーダ注	抗がん剤です	30分																							
ハーセプチン注	抗がん剤です	90分		2回目から投与時間が短くなることがあります。																					
エルブラット注	抗がん剤です	2時間																							
エスワン錠	抗がん剤です	朝・夕 内服																							



この週はお休みです。

2回目から投与時間が短くなる場合があります。



この週はお休みです。

😊 治療による副作用

1回 錠

:注意が必要な時期

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
自覚症状	過敏症																								
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																							
	食欲不振・吐き気																								
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																							
	手足のしびれ																								
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																							
	血管痛																								
		点滴の途中に、注射部分やその周りに違和感や痛みなどがあればお知らせください。																							
口内炎																									
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																								
下痢																									
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。																								
色素沈着																									
	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																								
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																									
	髪質が少し変わることもあります。治療後半年程度でまた生えてきますので、心配すぎないでください。																								
検査値	白血球減少																								
		感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																							
	赤血球減少(貧血)																								
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																							
血小板減少																									
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																								
肝機能低下																									
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																								

*キイトルーダについては冊子で説明いたします。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 抗がん剤投与および投与後一定期間は適切な避妊を行ってください。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

広島市民病院薬剤部